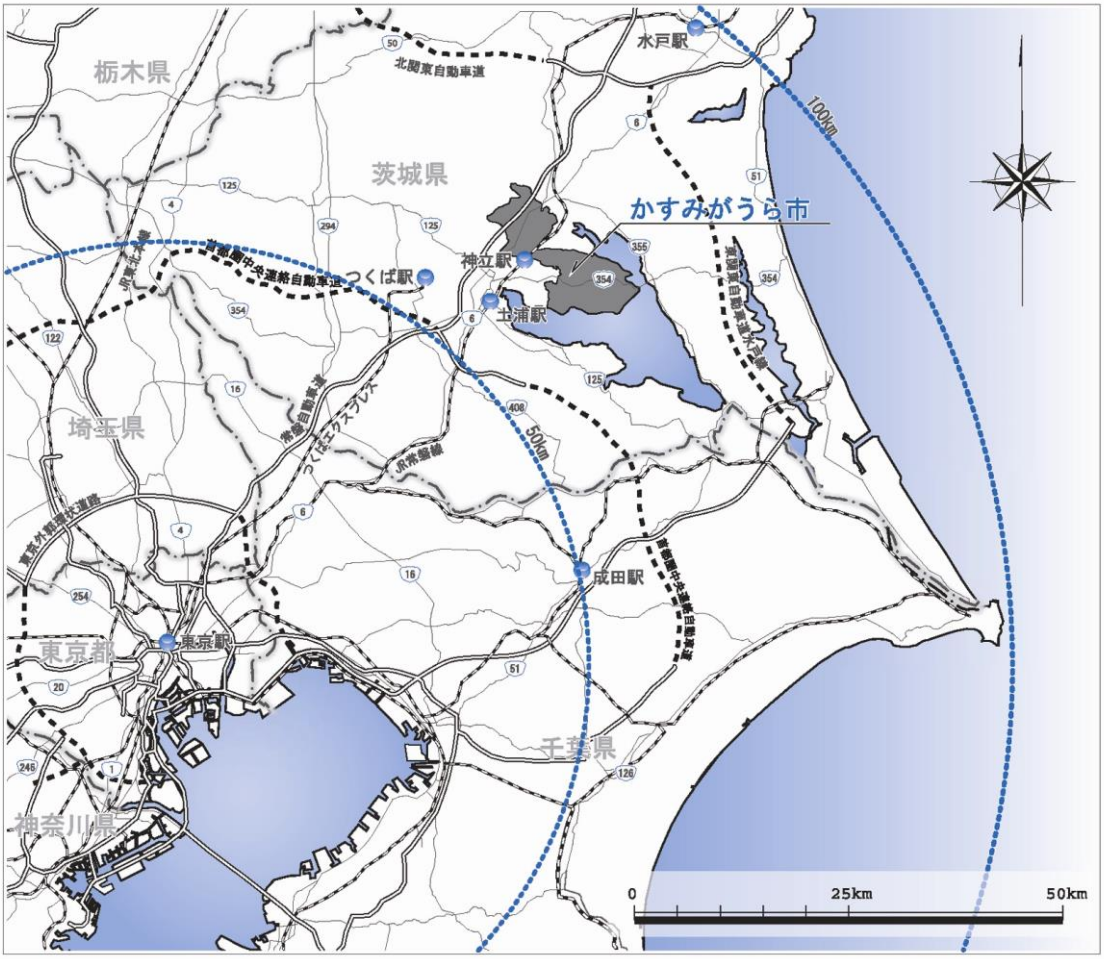
概　況

位置

かすみがうら市は、茨城県南部のほぼ中央に位置し、我が国第 2 位の面積を誇る「霞ヶ浦」と筑波山系の南麓にはさまれ、その一部は水郷筑波国定公園に指定されるなど、優れた自然景観と都市景観が調和した田園都市です。

西側は土浦市、北側は石岡市に隣接し、首都東京へ 70km、県都水戸市へ約 30km、筑波研究学園都市へ約 10km の距離にあり、JR 常磐線、千代田石岡インターチェンジを市内に有する常磐自動車道、国道 6 号、国道 354 号などの幹線交通網が各都市を結び、立地条件にも恵まれた都市です。



地勢・気候

かすみがうら市の総面積は、156.60 平方 km（うち霞ヶ浦水面の面積は 37.87 平方 km）で、南北に約 16 km、東西に約 19.5 kmとなっており、中央部がくびれた形状をしています。

その大部分は、標高 25m 前後の常陸台地で西端の標高約 380m の山々から霞ヶ浦湖岸の低地へとつづくなだらかな地形を有しています。北部には恋瀬川と天の川が流れ、南部には菱木川と一ノ瀬川が流れており、南東部で霞ヶ浦に接しています。そして、台地部には畑や平地林が、霞ヶ浦沿岸の低地部一帯には水稲やレンコンなどの水田が広がっています。

また、気候は、霞ヶ浦や筑波山系の山々の影響を受けて、冬期は比較的暖かく夏期は比較的涼しく、台風や霜、雪などの被害も比較的少ない地域で、温暖な気候に恵まれています。

かすみがうら市の歩み

年	月	主なできごと
平成１７年	３月	霞ヶ浦町と千代田町が合併「かすみがうら市」誕生
	４月	霞ヶ浦環境科学センター開館
	５月	市長選挙が行われ、初代市長に鈴木三男氏が当選（無投票）
	６月	天皇皇后両陛下が霞ヶ浦環境科学センターをご視察する
	７月	かすみがうら市誕生記念式典開催
		かすみがうら市文化協会設立
	８月	第１回かすみがうら市少年のつばさ（オーストラリア）
	１０月	第１回かすみがうら市生涯学習フェスティバル開催
		千代田庁舎に自動交付機設置
	１１月	霞ヶ浦大橋有料道路無料開放
		第１回かすみがうら祭開催
	１２月	県知事から霞ヶ浦地区の梨が銘柄産地指定認定を受ける
平成１８年	２月	第１回市民マラソン大会開催
	３月	農業委員会委員選挙
		第１回かすみがうらふれあいフェア開催
		本市が物語の中心舞台として描かれた映画「恋するトマト」が完成
		かすみがうら市区長会設立
	４月	新治児童館開設
		「アントラーズフレンドリータウンデイズ」で「かすみがうら市の日」を開催
	７月	市長選挙が行われ、第２代市長に坪井透氏が当選（無投票）
	１０月	コミュニティーバス運行開始
平成１９年	１月	市議会議員選挙
	３月	オフトーク通信廃止
		県知事から霞ヶ浦地区のレンコンが、銘柄産地の再指定を受ける
		障害者計画・障害者福祉計画策定
		かすみがうら市総合計画策定
	４月	圓城寺和則氏が副市長に就任
		かすみがうら市地域防災計画策定
		かすみがうら市国民保護計画策定

年　　月	主なできごと
平成１９年１０月	かすみがうら市総合型地域スポーツクラブが設立、同時に「ＫＳＣなかよしスポーツクラブ」及び「ＫＳＣエンジョイスポーツクラブ」発足
	かすみがうら市市民憲章制定
	郵政民営化により事業が分社化
１２月	かすみがうら市花・木・鳥制定
平成２０年　１月	かすみがうら市　食　発見コンテスト開催
３月	かすみがうら市男女共同参画計画策定
４月	地域福祉センター「やまゆり館」開館
	長寿（後期高齢者）医療制度開始
	市施設に指定管理者制度が導入され開始
	県税に森林湖沼環境税が期限付で導入
	かすみがうら市焼酎づくり推進協議会設立
６月	第１回かすみがうら市ブランド化推進会議開催
９月	かすみがうら市総合防災訓練実施
１１月	やきいも焼酎「湖山（こざん)」発売
	国民文化祭で「帆引き船フェスタ」開催、皇太子殿下の視察を受ける。七色の帆引き船が特別操業
１２月	かすみがうらのスイーツ・おやつコンテスト開催
平成２１年　３月	国道３５４号線大和田バイパス開通
	霞ヶ浦新庁舎建設工事着工
	霞ヶ浦地区の保育所を３ヵ所に統合し、内２ヵ所が民営化
	定額給付金の受付開始
	霞ヶ浦の境界が決定
	かすみがうら市地域計画マスタープラン策定
４月	乗り合いタクシーの運行開始（霞ヶ浦地区）
	コイ養殖が６年ぶりに再開
	霞ヶ浦地区の保育所を３ヵ所に統合し、内２ヵ所を民営化
５月	裁判員制度スタート
７月	「湖山の宝」プレミアム商品券発売
８月	「霞ヶ浦帆引き船模型」が茨城県郷土工芸品に認定
９月	「湖山の宝」巡りツアー開催
	新型インフルエンザの影響で学年閉鎖など
１２月	志筑小学校移転整備工事着工
	ブルーベリーリキュール「霞恋」発売

年	月	主なできごと
平成２２年	１月	千代田庁舎にパスポート窓口開設
	２月	利根コカ・コーラボトリング㈱と防災協定の締結
	３月	宍倉出張所及び多目的会館並びに美並地区公民館が閉鎖
		茨城空港開港
		土浦石岡社会教育センター解散
	４月	歩崎公園にビジターセンターオープン
		千代田庁舎市民部で窓口業務の一部を延長
		ふるさと市民制度開始
	５月	霞ヶ浦新庁舎で業務開始
		「湖山」のホームページ開設
		郷土資料館入場者７０万人突破
	６月	「子ども手当」支給開始
	７月	２０１０ブルーベリーin 茨城開催
		市長選挙が行われ、第３代市長に宮嶋光昭氏が当選
		石岡つくば線バイパス開通
	８月	かすみがうら市インターネット公売開始
	１０月	市内交通システムを再編
	１２月	「千代田駐在所」が開所
平成２３年	１月	市議会議員選挙
		土浦かすみがうら土地区画整理一部事務組合設立
		霞ヶ浦公民館事務所をあじさい館へ移転
	２月	市民懇談会開催
	３月	東日本大震災
		かすみがうら市で震度６弱　住家１，１９１棟が損壊
		千代田庁舎２階・３階が損壊し立ち入り禁止
	４月	市税・保険料のコンビニ納付始まる
		原発事故に伴う風評被害対策会議が開かれる
	５月	市農業再生協議会設立
	１０月	石川眞澄氏が副市長に就任
		放射能関連講演会開催
		事業仕分け（第１回）が開かれる
平成２４年	１月	生涯学習課をあじさい館に移転
		かすみがうらのお城市開かれる
		放射線の訪問測定を開始

年	月	主なできごと
平成２４年	３月	市民部、保健福祉部、会計課窓口を千代田公民館講堂に移転
		かすみがうら市総合計画後期基本計画策定
		かすみがうら市高齢者福祉計画・第５期介護保険事業計画策定
		かすみがうら市健康増進計画策定
		県道石岡田伏土浦線バイパス全線開通
	４月	美並駐在所が開所
		住宅用太陽光発電システム設置補助金募集開始
	５月	ライオンズクラブから放射線測定器６台が寄贈
	８月	市政懇談会開催
	１０月	かすみがうらエンデユーロ（第１回）開催
平成２５年	１月	かすみがうら市地域防災計画策定
	２月	ソーラ発電事業開始
	３月	第２期かすみがうら市地域福祉計画策定
	３月	第２次かすみがうら市男女共同参画計画策定
	４月	私立保育園２園、認定こども園１園開園
		土浦ケーブルテレビ（株）と災害時における放送等に関する協定の締結
		（社）茨城トラック協会土浦支部と災害時における緊急救援輸送等の協力に関する協定の締結
	６月	JAF 茨城県支部との連携協力に関する協定の締結
	７月	筑波山地域ジオパーク推進協議会に加入
		（株）常陽銀行神立支店及び出島支店と見守り活動への協力関する協定書の締結
	８月	千代田庁舎業務再開
平成２６年	３月	市立北中学校、南中学校閉校
	４月	市立霞ヶ浦中学校開校
		市空き家情報登録制度「空き家バンク」実施
	５月	霞ヶ浦帆引き船、帆引き網漁法保存会設立
	７月	市長選挙が行われ、第４代市長に坪井透氏が当選
		市議会議員補欠選挙
	８月	市制 10 周年記念「沖縄自然子ども探検隊」を実施
	１０月	自治体クラウドに移行
		中央出張所で自動交付機廃止に伴う代替業務を開始
		五輪堂橋開通

年	月	主なできごと
平成２７年	１月	市議会議員選挙
	２月	市制 10 周年記念「竹内百太郎と伊東甲子太郎」のマンガ作成
	３月	農業委員会委員選挙
	４月	霞台厚生施設組合に加入
	５月	FRP 製帆引き船「かすみがうら丸」進水式
	６月	横瀬典生氏が副市長に就任
平成２８年	２月	かすみがうら市市制施行 10 周年記念式典開催
	３月	市立下大津小学校、美並小学校、牛渡小学校、佐賀小学校、安飾小学校、志士庫小学校、宍倉小学校閉校 マイナンバーカードによる証明書のコンビニ交付開始
	４月	市立霞ヶ浦南小学校、霞ヶ浦北小学校開校 ㈱かすみがうら未来づくりカンパニー設立
	７月	かすみキッチン営業開始
	９月	筑波山地域（つくば、石岡、笠間、桜川、土浦、かすみがうら市）日本ジオパーク認定
	１１月	つくば霞ヶ浦りんりんロード開通
	１２月	やきいも焼酎「美並の恵」発売
平成２９年	１月	歴史博物館（旧郷土資料館）リニューアルオープン
	５月	かすみがうら市公式アプリ提供開始
	５月	旧小学校（下大津、牛渡、佐賀、志士庫小学校）活用事業基本協定書締結
	７月	災害時等における自治体クラウド業務相互支援協定 締結（常陸大宮市、那珂市、五霞町、大子町、かすみがうら市）
平成３０年	３月	市立さくら保育所閉所
	４月	「J:COM ふるさと名品オブ・ザ・イヤー【おもてなし】部門賞」受賞
	４月	大吟醸酒「ふくまる厳選米のお酒」発売
	５月	生活習慣病予防健康づくりモデル事業協定 締結（筑波大学、土浦協同病院、神立病院、かすみがうら市中志筑・上志筑・高倉・五反田）

かすみがうら市の歩み（霞ヶ浦町編）

年	月	主なできごと
昭和３０年	２月	下大津村、美並村、牛渡村、佐賀村、安飾村、志士庫村の六村が合併して「出島村」誕生
		消防団結成
		第１回村長選挙が行われ、初代村長に金塚豊氏が当選
	４月	出島広報第１刊発行
	５月	美並小学校にて合併祝賀式開催
		消防団結団式開催
	7月	牛渡中学校（現小学校）竣工
	８月	出島村農業共済組合発足
		村章決定
昭和３１年	１月	第１回村議会議員選挙
		教育委員選挙
	２月	農業委員選挙
	６月	東映映画「米」の撮影開始
	１０月	国民健康保険事業発足
	１２月	役場支所廃止し、支所は地区公民館として発足
昭和３２年	２月	役場新庁舎竣工
	６月	新市町村建設計画調整村に指定される
昭和３３年	３月	「腹帯地蔵」と「出島の椎」が県の重要文化財に指定を受ける
	４月	有線放送電話開通
	５月	出島揚水給水開始
	６月	北中学校発足（佐賀・安飾・志士庫の各中学校は廃校）
昭和３４年	１月	新暦の正月に切り替え
	２月	青年研修所が竣工
		村長選挙が行われ、第２代村長に塚本明氏が当選
		「歩崎」が水郷筑波国定公園の特別地域に指定される
	４月	加茂の椎名家住宅が国の重要文化財に指定される
	７月	北中学校第一期工事完了
	９月	南中学校発足（下大津・美並・牛渡の各中学校は廃止）
	１１月	国民年金事業発足
		第１回村民体育大会開催

年	月	主なできごと
昭和３５年	１月	村議会議員選挙
	４月	出島村漁業協同組合発足
	５月	柏崎簡易水道竣工
		部落長会設立
	６月	南中学校第一期工事完了
		北中学校第二期工事完了
	９月	出島村漁業協同組合発足
昭和３６年	３月	南中学校校舎竣工
	８月	出島村商工会発足
	１０月	下大津簡易水道竣工
	１２月	土浦市と境界変更　土浦市から１６世帯，３３ha が出島村へ
		出島村から４世帯，１３ha が土浦市へ
昭和３７年	２月	農業委員選挙
	６月	南中学校体育館竣工
昭和３８年	１月	農業構造改善事業が始まる
	２月	村長選挙が行われ、第３代村長に金塚豊氏が当選
		北中学校体育館竣工
	４月	初めてのヘリコプターによる空中防除
	７月	農村モデル図書館開館
	８月	金塚村長ヨーロッパ各地の土地改良事業等を視察
	１０月	県道舗装新設工事第１号八千代台集落地内１００ｍ完成
昭和３９年	１月	一ノ瀬，坂湖岸地区土地改良事業始まる
		村議会議員選挙
	４月	牛渡漁港竣工
	１０月	第１回村民野球大会開催
	１２月	高浜入干拓実施決定
昭和４０年	２月	合併１０周年記念式典開催
		広域水道の通水
		法蔵寺の「宝珠杵」が県の文化財に指定を受ける
	４月	第一保育所開所
	７月	柏崎・浜間に県営渡舟就航
	８月	地籍調査事業開始
	１２月	出島村農業協同組合発足
昭和４１年	２月	教職員住宅竣工
	４月	第二、第三保育所開所

年	月	主なできごと
昭和４１年	６月	全村水田に空中防除実施
昭和４２年	２月	村公民館完成
		村長選挙が行われ、第４代村長に薬師寺精氏が当選
	４月	佐賀保育所開所
	８月	トロール漁業試験操業，帆引船は姿を消す
	１１月	天神工業団地に「東京製鋼（株)」「三晃プラスチックス（株)」の誘致決定
昭和４３年	１月	村議会議員選挙
	２月	農業委員選挙
	７月	交通安全対策協議会発足
	１０月	村体育館竣工
		村道舗装新設工事着手（原・小津線）
昭和４４年	３月	柏崎小学校が廃校となり、安飾小学校へ統合
	５月	集団赤痢発生
	８月	寝たきり老人に家庭奉仕委員派遣
昭和４５年	４月	都市計画法による都市計画区域決定
		南北中学校で完全給食実施
	８月	第１回村民球技大会開催
昭和４６年	１月	農業者年金スタート
	２月	村長選挙が行われ、第５代村長に薬師寺精氏が当選
		役場庁舎増築工事完成
	３月	志士庫小学校西成井分校廃校
	６月	新生集落で公園墓地完成
	７月	南北中学校にプール竣工
	８月	観光帆引船処女帆走
	１２月	地域集団自動電話開通
昭和４７年	１月	村議会議員選挙
	３月	安飾小学校防音校舎竣工
	５月	燃えないゴミの収集開始
	１１月	第１回出島村文化祭開催
昭和４８年	１月	農業振興地域の指定を受ける
		７０歳以上の老人医療費無料化（一部制限）
	４月	歩崎に村営バンガロー完成
	１１月	新生集落田園都市建設事業完成祝賀式
昭和４９年	１月	農業委員選挙

年	月	主なできごと
昭和４９年	３月	第１回霞ヶ浦清掃大作戦が行われる
		志士庫小学校防音校舎竣工
	４月	県道舗装新設工事全線完成
	７月	下大津・牛渡小学校プール竣工
	１０月	宍倉小学校永久校舎竣工
		第２９回国民体育大会茨城県大会の炬火リレーが本村を通過
		村公害防止条例施行
昭和５０年	２月	村長選挙が行われ、第６代村長に坂本重道氏が当選
	３月	出島村総合計画樹立
	４月	私立幼稚園「くりのみ幼稚園」開園
	６月	出島音頭ができ、村花・村木決定
	７月	安飾・宍倉小学校プール竣工
	１１月	合併２０周年記念式典開催
昭和５１年	１月	村議会議員選挙（無投票）
		冠婚葬祭の簡素化スタート
	４月	志士庫保育所開所
		ゴミ焼却場が完成し，生ゴミの回収開始
	５月	広域老人福祉センターオープン
	７月	美並，志士庫小学校プール竣工
		田伏，安飾地区県営ほ場整備事業着工
昭和５２年	１月	牛渡小学校防音校舎竣工
		農業委員選挙
	２月	湖北環境衛生組合の柏山浄化プラント竣工
		新治地方広域消防出島分署スタート
	４月	不燃物ゴミの処理開始
	６月	小中学校で米飯給食開始
	８月	南中学校夜間照明竣工
	９月	第１回ママさんバレーボールリーグ戦開催
昭和５３年	３月	佐賀小学校防音校舎，屋内運動場竣工（旧佐賀小学校と田伏小学校が統合）
		安飾小学校屋内運動場竣工
		第１回駅伝大会開催
	４月	農村総合整備モデル事業が始まる
	５月	佐賀農協に製茶工場竣工
	７月	佐賀小学校にプール竣工

年	月	主なできごと
昭和５３年	７月	北中学校夜間照明竣工
		一ノ瀬上流地区県営ほ場整備事業着工
	１０月	牛渡東部地区団体営ほ場整備事業着工
	１１月	下大津農村集落センター竣工
昭和５４年	１月	村営歯科診療所開設
	２月	牛渡，下大津小学校屋内運動場竣工
		村長選挙が行われ、第７代村長に坂本重道氏が当選（無投票）
	３月	記録映画「出島村風土記」完成
		美並小学校防音校舎竣工
		下大津保育所開所
	１１月	名誉村民章授与式開催
	１２月	新治地方広域消防出島分署新庁舎竣工
昭和５５年	１月	村議会議員選挙
	３月	宍倉，志士庫小学校屋内運動場竣工
		下大津小学校防音校舎竣工
	７月	田伏中台地区村営ほ場整備事業着工
	８月	坂本村長がヨーロッパの農業事情を視察
昭和５６年	１月	第２次出島村総合計画樹立
	３月	第１回クロッケー大会開催
		美並小学校屋内運動場竣工
	６月	霞ヶ浦大橋架設ルート決定
	７月	地積調査終了
	１０月	村障害者スポーツ大会開催
昭和５７年	１月	坂湖岸地区土地改良総合整備事業着工
		外葉地区村営ほ場整備事業着工
	３月	安飾地区多目的集会施設竣工
		牛渡地区公民館竣工
		宍倉小学校増築校舎竣工
	４月	神立周辺誘致高校（土浦湖北高校）開校
	５月	「へいさんぼう」に神馬復活
	７月	下大津小学校に保育室とプール竣工
	８月	坂本村長が行政視察のため訪米
	９月	霞ヶ浦富栄養化防止条例施行
	１０月	上水道第３次拡張事業着手

年　　月	主なできごと
昭和５７年１１月	ゆたかな村づくりパイロット事業のモデル村に指定
昭和５８年　１月	多目的運動広場完成
２月	村長選挙が行われ、第８代村長に坂本重道氏が当選（無投票）
３月	出島村農協梨選果場竣工
	北中学校防音校舎竣工
	出島村漁協で魚種転換用の種苗生産施設竣工
	志士庫地区公民館竣工
	有線放送廃止
	歩崎公園竣工
４月	公共下水道供用開始（天神・鹿ノ山地区）
８月	坂本村長が行政視察のため訪欧
	観光帆引船復活
１０月	多目的運動広場にテニスコート，管理棟，子供広場竣工
昭和５９年　１月	村議会議員選挙
４月	村空き缶回収に関する条例施行
	防災行政無線局開局
１１月	農村環境改善センター開設
昭和６０年　１月	霞ヶ浦大橋工事着工
２月	社会福祉法人出島村社会福祉協議会が発足
	志戸崎・田伏地区で小規模下水道事業着工
３月	歩崎公園内に生産物直売所開設
	出島勤労者体育センター開館
	第２保育所防音改築工事完了
	歩崎展望台設置
７月	つくば科学万博「出島村の日」
９月	坂中部地区村営ほ場整備事業着工
１０月	出島村民憲章制定
	部落長を区長に名称変更　部落を集落に変更
	美並地区土地改良総合整備事業着工
１１月	合併３０周年記念式典開催
昭和６１年　１月	第１回村民マラソン大会開催
２月	菱木上流地区県営ほ場整備事業着工
３月	第１・第３保育所防音改築工事完了

年	月	主なできごと
昭和６１年	３月	上水道第３次拡張工事による新浄水場からの通水開始
		南中学校防音校舎竣工
	４月	坂本村長行政視察のため訪中
昭和６２年	２月	村長選挙が行われ、第９代村長に坂本重道氏が当選
	３月	霞ヶ浦大橋開通
		教職員住宅竣工
		第３次出島村総合計画樹立
	４月	郷土資料館開館
		保健センター開館
	６月	坂本村長行政視察のためオーストラリアへ
	１１月	第１回村民体育祭開催
		第１回産業文化祭開催
昭和６３年	１月	村議会議員選挙
	３月	北中学校屋内運動場・柔剣道場竣工
		郷土資料館大手門・庭園完成
		田伏・安飾，一ノ瀬上流，外葉ほ場整備完了
	４月	内加茂集落センター竣工
	５月	特別養護老人ホーム開所
	８月	南中学校柔剣道，屋内運動場新・改築工事着工
		第１回あゆみ祭り開催
	１０月	第１１回全国消防操法大会に村消防団出場
	１１月	歩崎森林公園オープン
平成　元年	３月	深谷・大和田・田伏・志戸崎バイパス路線決定
	４月	南中学校柔剣道場・屋内運動場竣工
		霞ヶ浦水族館仮オープン
		特別環境保全公共下水道事業供用開始（志戸崎・田伏地区）
	６月	レンコン県銘柄産地指定受ける
		農村下水道田伏浄化センター通水開始
	７月	第１回ミス出島コンテスト開催
	９月	外国人の英語指導助手着任する（南中）
平成　２年	２月	第１回村民綱引き大会開催
	３月	志戸崎・田伏地内上水道第３次拡張事業完成
	４月	霞ヶ浦水族館開館

年	月	主なできごと
平成　２年	５月	坂本村長急逝・村葬（就任以来15年２ヶ月）
		正六位・勲四等，出島村名誉村民
	６月	村長選挙が行われ、第１０代村長に宮嶋光昭氏が当選
	１１月	合併３５周年記念式典開催
		銘木・巨木・珍木３５本選定
		第１回村民のつばさ（ﾏﾚｰｼｱ･ｵｰｽﾄﾗﾘｱ･ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ）
平成　３年	１月	第１回かすみがうらマラソン大会開催
	４月	出島村西部出張所開設
		あゆみ庵竣工
	６月	中国臨桂県から広西水稲育苗訪日研修団来訪
		デイサービスセンター完成
平成　４年	１月	村議会議員選挙
		農業委員選挙
	５月	郷土資料館の入館者３５万人突破
	６月	出島村国際交流推進協議会が設立される
		第４次出島村総合計画樹立
	１１月	第１回少年のつばさ（オーストラリア）
	１２月	歩崎公園内に民家園を移設
平成　５年	１月	村で，完全週休２日制実施
		毎週土曜日午前中，住民課窓口業務実施
	４月	南北中学校でコンピューター授業開始
	６月	柏崎・上根地区農業集落排水事業供用開始
平成　６年	１月	さざなみ通信開局
	２月	ＪＡ土浦発足
		出島村老人福祉計画策定
	４月	富士見塚古墳公園に展示館オープン
	６月	村長選挙が行われ、第１１代村長に郡司豊廣氏が当選
	１０月	三歳未満児の医療費無料制度開始
		新治地方ゴミ処理場「環境クリーンセンター」竣工
平成　７年	２月	霞ヶ浦シンポジウム開催
	４月	在宅ケアシステム開始
		在宅介護支援センター開始
	５月	大和田地区農業集落排水事業供用開始
	８月	広域火葬場「霞ヶ浦聖苑」玉造町にオープン
		第１回ドラゴンボートレース開催

年　　月	主なできごと
平成　７年１１月	東京都板橋区と災害時相互援助協定を締結
	新食糧法施行
平成　８年　１月	村議会議員選挙
３月	村歯科診療所廃止
４月	市街化区域内の用途地域一部指定変更
	ミニ・シルバー人材センター設立
５月	霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟会結成
９月	霞ヶ浦町にする条例、村議会で可決
１０月	村民ふれあいスポーツ祭開催
１１月	印鑑証明、住民票の自動交付機稼動
平成　９年　４月	町制施行により「霞ヶ浦町」となる
	「霞ヶ浦町」町章決定
５月	水族館入館者６５万人を突破
	志士庫駐在所新築移転
７月	県中央広域水道用水通水開始
８月	霞ヶ浦町少年交通安全委員会発足
９月	霞ヶ浦十景を選定
平成１０年　１月	農業委員選挙
３月	深谷地区農業集落排水事業の一部供用開始
４月	あじさい館開館
６月	町長選挙が行われ、第１２代町長に郡司豊廣氏が当選（無投票）
	水族館入館者７０万人を突破
平成１１年　３月	地域振興券交付
６月	水族館入館者７５万人を突破
９月	霞ヶ浦音頭完成
１１月	いばらき湖沼環境フェアＩＮ霞ヶ浦９９開催
	「こども環境会議」開催
平成１２年　１月	町議会議員選挙
４月	下大堤駐在所が新築完成し開所
	農産物直売所「地域活性化センター」オープン
１２月	霞ヶ浦町２０２０タイムカプセル記念式典開催
平成１３年　１月	２１世紀に残す日本の風景遺産１００選（財休暇村協会＆読売新聞社）に霞ヶ浦の観光帆引き船が選ばれる

年	月	主なできごと
平成１３年	１月	農業委員選挙
	２月	生涯学習推進に名人バンク設立
	７月	国道３５４号深谷バイパス開通
	１１月	わかさぎサミット開催
	１２月	高規格救急車配備
平成１４年	３月	霞ヶ浦町総合計画後期基本計画策定
	４月	叙勲祝賀会開催
	６月	町長選挙が行われ、第１３代町長に郡司豊廣氏が当選
	８月	住民基本台帳ネットワークシステム開始 （第１次サービス）
	９月	戸籍のコンピューター化
平成１５年	５月	土浦市・千代田町・霞ヶ浦町・新治村任意合併協議会発足
	２月	水族館入館者９０万人突破
	７月	第４５回自然公園大会開催 志戸崎・田伏バイパス開通
	１０月	茨城県霞ヶ浦環境科学センター建設工事着工
	１２月	千代田町と法定合併協議会設置 霞ヶ浦町・千代田町第１回合併協議会開催
平成１６年	１月	町議会議員選挙 農業委員選挙
	６月	水族館入館者９５万人突破
	７月	新しい帆引き船の進水式 「電子申請・届出システム」開始
	８月	「かすみがうら市」が新市名称に決定
	１０月	霞ヶ浦町・千代田町合併協定調印式 霞ヶ浦町と千代田町の合併申請を県知事へ提出 椎名家住宅で能が催される
平成１７年	３月	霞ヶ浦町閉町式典開催

かすみがうら市の歩み（千代田町編）

年　　月	主なできごと
昭和２９年　３月	志筑村，新治村，七会村の三村が合併して「千代田村」が誕生　役場を中志筑の旧志筑村役場に，東支所を西野寺の旧新治村役場に，西支所を中佐谷の旧七会村役場に設置　村長職務代理者に旧新治村長の竹村潔氏が就任
４月	第１回村長選挙が行われ、初代村長に川俣惣右衛門氏が当選
１０月	役場新庁舎建設着工
昭和３０年　１月	第１回村議会議員選挙
４月	役場新庁舎竣工
１１月	第１回千代田村文化祭開催
昭和３１年　５月	統合中学校敷地が上佐谷四万騎地区に内定すると同時に，敷地の是非をめぐって議論がわかれ，反対運動が起こり，のちに分村運動までに発展
１０月	東部地区公民館竣工
	千代田中学校建設工事着工
昭和３２年　４月	千代田中学校第一期工事完了
７月	有線放送電話開通
	各支所廃止
	分村運動終息
昭和３３年　３月	千代田中学校第１回卒業式開催
	村長選挙が行われ，第２代村長に梁田正義氏が当選
４月	千代田中学校第二期工事完了
１２月	新治農協の稚蚕共同飼育所，志筑農協の共同集荷所が，新農村建設事業により竣工
昭和３４年　１月	村議会議員選挙
３月	新農村建設事業による下志筑地内の暗渠排水事業及び下土田の梨園かん水事業竣工
５月	東部地区公民館で新治地区の季節保育所開設（春秋２期）
１２月	新農村建設事業による共同給水施設が馬立，下稲吉，横堀，二子塚に設置
昭和３５年　３月	地籍調査実施委員会が結成され，地籍調査開始

年　　月	主なできごと
昭和３５年１２月	新農村建設事業による共同給水施設が市川，下佐谷，上志筑，五反田，上稲吉に設置
昭和３６年　５月	千代田村商工会結成
	千代田中学校体育館，青年研修所竣工
６月	集中豪雨により道路橋梁に被害が発生
８月	上稲吉向原工業団地の買収開始
昭和３７年　３月	村長選挙が行われ、第３代村長に梁田正義氏が当選
	村議会議員補欠選挙
９月	村合同の敬老会開催
１１月	村合同の七つの祝開催
１２月	村の南部地区（７４０ha）が土浦都市計画区域に編入
昭和３８年　１月	村議会議員選挙
３月	都市計画道路（４路線）決定
４月	教育実験地区に県から指定される
６月	ヘリコプターによる水田空中防除
７月	向原工業団地が竣工，分譲開始
８月	村南部地域が首都圏整備法による都市開発地域の指定を受ける（土浦・阿見都市計画区域）
	中志筑の千手観音ほか３点が，県の指定文化財を受ける
１２月	第１回千代田村教育振興大会開催
昭和３９年　４月	各小学校で，完全給食５日制実施
６月	千代田中学校プール竣工
	梁田村長が欧米視察
	逆西工業団地で立地企業の操業開始
１０月	東京オリンピック聖火リレーが村内通過
昭和４０年　２月	天の川改修工事完成
７月	千代田村体育協会結成
	西山工業団地竣工
８月	西山工業団地の分譲開始
９月	七会農協の共同集荷所完成
１０月	教育実験地区完結発表会開催
昭和４１年　１月	下稲吉小学校増築工事竣工
３月	村長選挙が行われ、第４代村長に梁田正義氏が当選
	村議会議員補欠選挙

年	月	主なできごと
昭和４１年	５月	土浦・千代田工業団地の分譲開始
	７月	土浦・千代田工業団地造成事業竣工
	１０月	志筑小学校がソニー理科教育振興資金を受ける
昭和４２年	１月	村議会議員選挙
	２月	国道６号線西野寺歩道橋開通
	８月	千代田中学校女子バレーボール部が北関東中学校大会で優勝
昭和４３年	６月	中志筑地区の水田ほ場整備事業竣工
	１２月	村内１３ヶ所に「ちびっこ広場」を設置
昭和４４年	２月	雪入，上佐谷地区西北部の山岳地帯が水郷筑波国定公園に編入される
	４月	志筑小学校（永久校舎）竣工
	１０月	五輪堂橋（永久橋）竣工
昭和４５年	３月	新治小学校建設第一期工事完了 村長選挙が行われ，第５代村長に梁田正義氏が当選
	４月	千代田村史発刊 都市計画区域が変更され、土浦・阿見都市計画区域となり、村全域が都市計画区域となる
	１２月	下稲吉地区の簡易水道給水開始
昭和４６年	１月	村議会議員選挙
	３月	市街化区域と市街化調整区域が決定 （市街化区域５４５ｈａ） 農業振興地域指定
	９月	国鉄味覚列車「栗ひろい号」が上野～土浦間に運転され、観光農園が賑わう
	１２月	農林省園芸試験場、林業試験場の試験地が村内上志筑に決まり、用地買収始まる
昭和４７年	６月	常磐自動車道の路線が発表になり、村内にインターチェンジがつくられることになる
	７月	中志筑十一面千手観音像収蔵庫竣工
	９月	千代田村公害防止条例制定
	１０月	村立第一保育所（上稲吉)、第二保育所（中志筑）開所
	１２月	県営ほ場整備事業が恋瀬川右岸地区、千代田・石岡地区で着工
昭和４８年	１月	７０歳以上の老人医療費無料化（一部制限）

年	月	主なできごと
昭和４８年	７月	光化学スモック情報が頻繁に発令され受令機設置
	１０月	村立第三保育所（下稲吉）開所
		下稲吉小学校合同竣工（校舎・体育館・プール）
	１１月	千代田村合併２０周年記念式典開催
	１２月	常磐自動車道インターチェンジの概略発表
昭和４９年	１月	新庁舎建設地鎮祭
	３月	村長選挙が行われ，第６代村長に梁田正義氏が当選
	４月	千代田村土地開発公社設立
		土田地区簡易水道事業通水開始
	５月	常磐自動車道（千代田～日立）路線発表
	８月	「新治地方環境衛生組合」を設立し、塵芥焼却場の建設計画に着手
	１１月	筑波ブロック広域観光協議会結成
	１２月	役場新庁舎が竣工、「村章」制定
昭和５０年	４月	役場南部出張所開設
	５月	千代田村観光協会発足
	６月	七会小学校（永久校舎）竣工
	７月	村立第四保育所（下稲吉）開所
昭和５１年	４月	千代田村基本構想決定
	５月	新治地方環境衛生組合の塵芥焼却場、老人福祉センター開所
	７月	県指定文化財旅籠「皆川屋」の修理完了
	８月	村民と村長の「対話の日」を設定
昭和５２年	１月	母子家庭の医療費無料化
	３月	志筑、新治農協「育苗センター」竣工
	６月	降雹により農作物に大きな被害が出る
	７月	新治広域消防業務開始
	８月	第１回線引きの見直し実施
	１２月	西野寺地内に村営グランド完成
昭和５３年	３月	村長選挙が行われ、第７代村長に梁田正義氏が当選
		村議会議員補欠選挙
	６月	松くい虫被害をヘリコプターにより空中防除
	９月	指定金融機関制度発足
	１０月	下稲吉地内に村営グランド完成
	１１月	第１回老人スポーツ大会開催

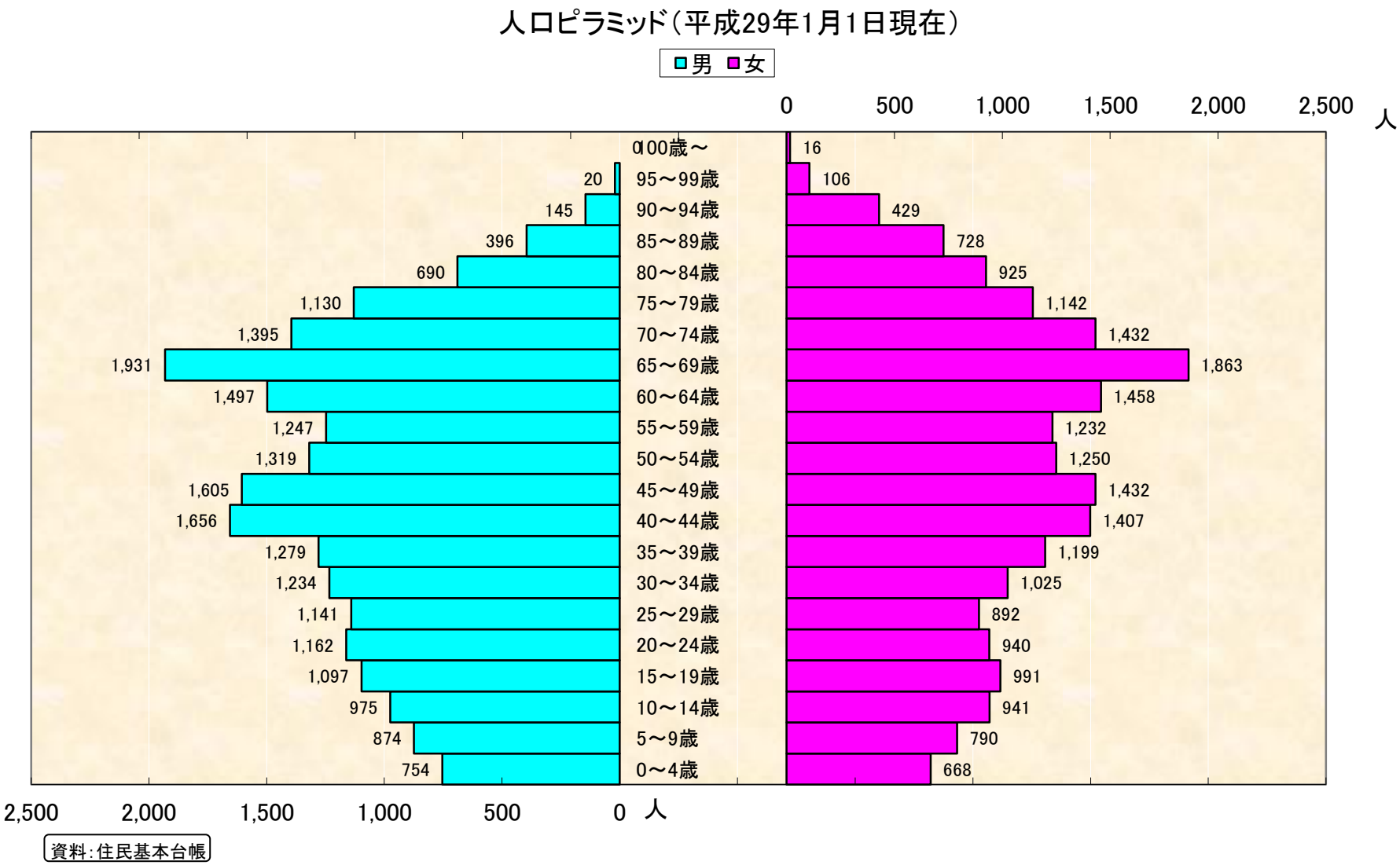
年　　月	主なできごと
昭和５３年１１月	中央公民館竣工、千代田音頭発表会開催
昭和５４年　４月	村立下稲吉東小学校新設開校
６月	休日夜間緊急診療（石岡メディカルセンター）開始
７月	下稲吉東小学校（体育館・プール）竣工
１０月	電算機（コンピュター）導入
	志筑、野寺地区簡易水道拡張事業完成
昭和５５年　１月	七会小学校校舎増築工事竣工
４月	自然休養村、緑の村整備事業で第１・第２常陸野公園完成
８月	村長選挙が行われ、第８代村長に由波正氏が当選
１０月	上稲吉、佐谷地区簡易水道拡張事業完成
	役場事務機構が改革され、村民相談室設置
昭和５６年　４月	下稲吉中学校新設開校
７月	下稲吉中学校（体育館・プール）竣工
８月	上佐谷小学校（プール）竣工
１０月	千代田村基本構想、基本計画改定
１１月	第１回ちよだまつり開催
昭和５７年　２月	上佐谷小学校（永久校舎・体育館）竣工
３月	常磐自動車道（谷田部～千代田石岡）開通
４月	保健センター開館
８月	第１回商工青年祭開催
１２月	村公共下水道一部供用開始
昭和５８年　１月	村議会議員選挙
４月	Ｂ＆Ｇ海洋センター竣工
	本村小・中学校全校が文部省徳育教育研究協同推進校に指定される
６月	千代田中学校校舎、勤労青少年ホーム竣工
昭和５９年　１月	志筑小学校体育館竣工
３月	村長選挙が行われ、第９代村長に金子政美氏が当選
	福祉のまちづくり計画策定
	七会農協梨、柿協同選果場竣工
４月	児童公園竣工
６月	空き缶等の散乱防止に関する条例制定
８月	千代田村科学万博を成功させる会発足
１１月	合併３０周年記念式典開催　（名誉村民に三氏決定）

年	月	主なできごと
昭和６０年	３月	国際科学技術博覧会（科学万博つくば８５）開幕
	４月	下稲吉児童館開館
	９月	つくば科学万博「千代田村の日」
昭和６１年	３月	千代田中学校柔剣道場竣工
		千代田村第三次総合計画策定
	８月	台風１０号による被害を受ける
	１０月	第１回村民運動会開催
昭和６２年	１月	村議会議員選挙
	２月	村内三農協が合併し、千代田村農協発足
	３月	中央公民館講堂、働く婦人の家、新治小学校体育館、大塚ファミリー公園、第一常陸野公園夜間照明竣工
	５月	一村一品運動として梨ワイン「梨鳳」発売
昭和６３年	２月	村長選挙が行われ、第１０代村長に金子政美氏が当選
	３月	勤労者体育センター竣工
	６月	東日本最古の製鉄跡発掘
平成　元年	２月	閑居山と成沢・竜ヶ峰のヤマザクラが茨城自然百選に選定される
		雪入温泉発見
	３月	フルーツ公園通り竣工
		高齢者センター（平成館）竣工
	４月	晩霜により農作物に被害を受ける
	５月	千代田村社会福祉協議会法人化
	８月	外国青年誘致事業でダニエル・ロマノ氏が英語指導助手として着任
平成　２年	１０月	第１次住居表示整備事業により、下稲吉の一部が「稲吉」になる
	１１月	ちよだ太鼓誕生
		第１回千代田村社会福祉大会開催
平成　３年	１月	村議会議員選挙
	３月	七会小学校体育館改築竣工
		三ツ石森林公園竣工
	４月	土田地区農業集落排水処理施設供用開始
		千代田村交通安全対策推進協議会が発足
		「茨城県総合農業公園」誘致活動で総合公園推進室設置

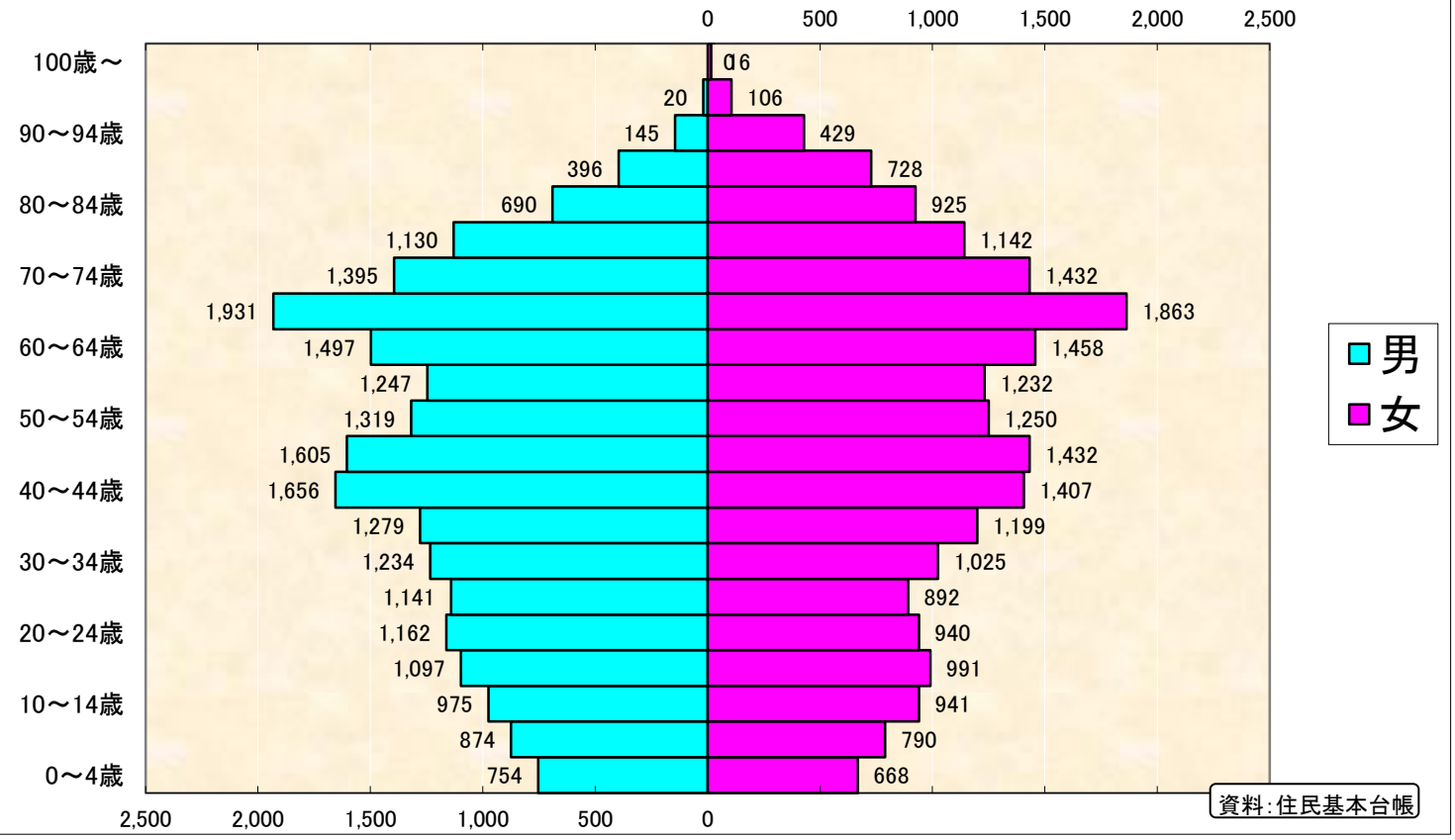
年	月	主なできごと
平成　３年	５月	晩霜により農作物に被害を受ける
	６月	千代田村「ＣＩ計画」策定
	７月	雪入温泉掘削工事着手
	９月	台風１８号による被害発生
		平成４年１月１日から町制施行決定
平成　４年	１月	千代田町誕生
		第２年次住居表示整備事業により、下稲吉の一部が「稲吉東」になる
	２月	町長選挙が行われ、第１１代町長に金子政美氏が当選
	３月	地域防災無線を整備
	４月	ＣＩ計画の一環としてシンボルマーク、ロゴマーク、メインビジュアルを制定
		千代田村農協が茨城千代田農協となる
	７月	町制施行記念「町民号」実施
平成　５年	１月	第３次住居表示整備事業により、下稲吉の一部が「稲吉南」になる
	３月	さくら保育所竣工
		第１０回全国都市緑化いばらき（グリーンフェア９３茨城）開幕
		金子正美町長急逝　町葬　千代田町名誉町民
	４月	千代田中学校屋内運動場竣工
		町長選が行われ、第１２代町長に鈴木三男氏が当選
		ふれあいふるさとづくり事業創設
		（平成５年度から平成７年度）
平成　６年	４月	大塚自然体験の森公園開園
		「広報ちよだ」が創刊３００号（縮刷版を発刊）
	１１月	町営グランドテニスコートの一部が人工芝に改良
平成　７年	１月	町議会議員選挙
	２月	生涯学習フェスティバル開催
	３月	第四次千代田町総合計画策定
		住民票の世帯主との記載方法変更「長男・長女」等が「子」に統一
		新治地方広域事務組合「環境クリーンセンター」竣工
		わかぐり保育所竣工
		逆西９区集会所竣工

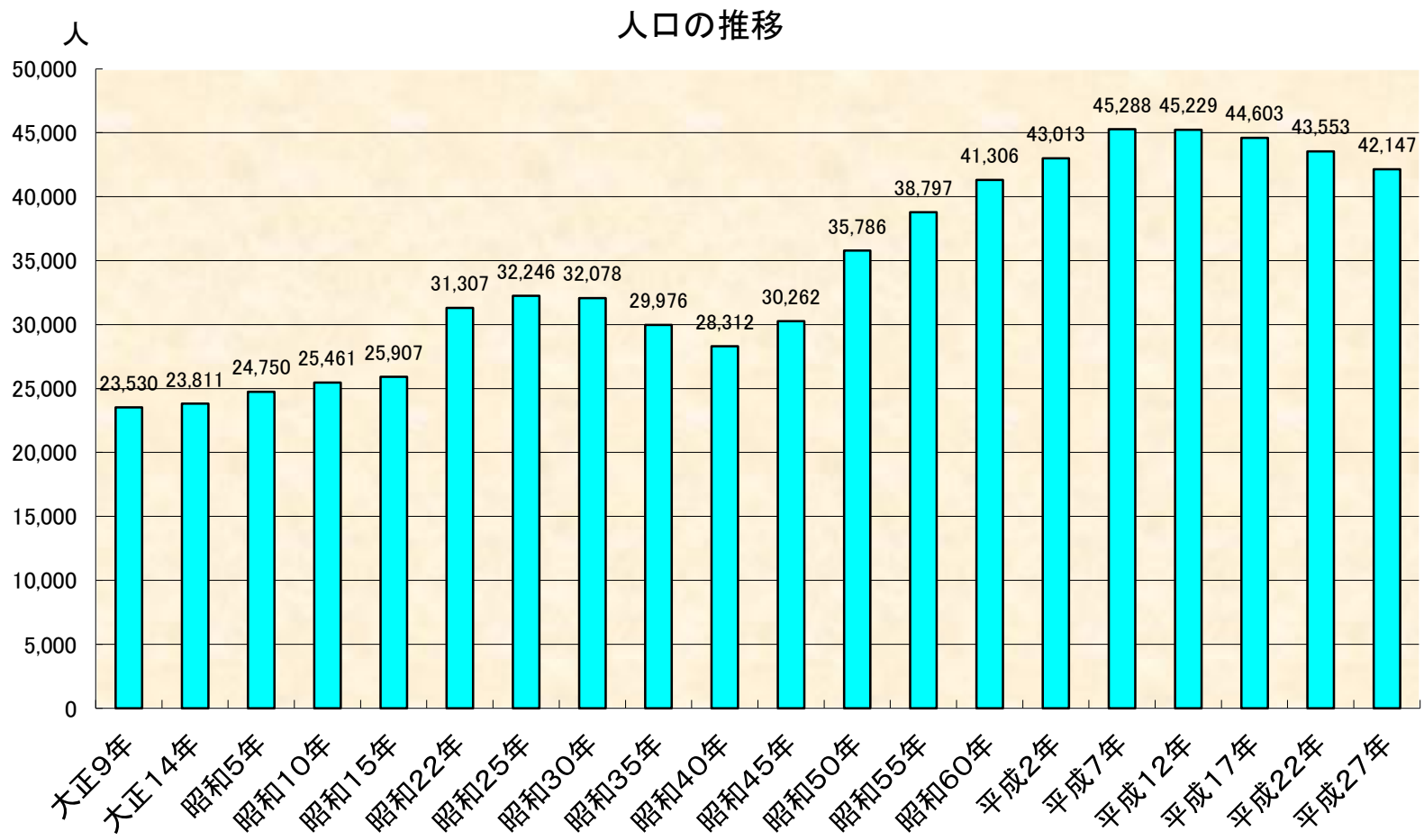
年	月	主なできごと
平成　７年	４月	新治小学校の校舎大規模改造工事完了
	１０月	町営駐車場と駐輪場竣工
		町づくりに参画していただくため「住民提案」制度を導入
	１１月	第１回子ども議会開催
平成　８年	３月	大塚ふれあいセンター・大塚児童公園竣工
	４月	雪入ふれあいの里公園ネイチャーセンター竣工
		市街化区域で「新用途地域」を施行
	６月	地域づくり助成事業創設
		千代田町老人デイサービス事業開始
	７月	農業委員選挙
	１０月	千代田町行政改革大綱策定
平成　９年	１月	公民館まつり開催
	３月	町長選挙が行われ、第１３代町長に鈴木三男氏が当選（無投票）
		やまゆり保育所竣工
	４月	稲吉ふれあい公園開園
		雪入ふれあいの里公園、三ッ石森林公園開園
	９月	千代田町のホームページを開設
平成１０年	２月	千代田町ガイドマップ発刊
	３月	「ＣＩ計画」による公共施設誘導サイン整備
	１０月	茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業でまちづくりグットデザイン賞受賞
平成１１年	１月	町議会議員選挙
	３月	地域振興券交付
	４月	全国の郵便局窓口で、町税等の納付が可能になる
	７月	農業委員選挙
平成１２年	４月	千代田町情報公開条例施行
		介護保険制度スタート
	９月	戸籍事務電算化
	１１月	千代田町西暦２０００年記念式典開催
		「町の鳥」が「めじろ」に決定
		第２０回ちよだまつり開催　～四万騎鍋登場～
平成１３年	３月	町長選挙が行われ、第１４代町長に鈴木三男氏が当選（無投票）
	４月	家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）施行

年	月	主なできごと
平成１３年	４月	南部出張所移転
		介護保険制度の広域運営開始
		（新治地方広域事務組合へ移行）
		逆西防災施設竣工
	７月	ちよだ地域子育て支援センター開設
平成１４年	６月	一部地域でケーブルテレビの利用が可能になる
	７月	農業委員選挙
	８月	住民基本台帳ネットワークシステムが開始
		（１次サービス開始）
	１０月	町ホームページを一新
	１１月	第２２回ちよだまつり　～町制１０周年記念事業として開催
平成１５年	３月	上稲吉に「獅子やぐら・獅子小屋」完成
	７月	町道２７８４号線「千代田大橋」開通
	８月	住民基本台帳ネットワークシステム（２次サービス開始）
	１０月	千代田町教育支援センター開設
	１２月	霞ヶ浦町と法定合併協議会設置
		霞ヶ浦町・千代田町第１回合併協議会開催
平成１６年	３月	町都市計画マスタープラン策定
	５月	土浦・阿見都市計画用途地域変更
	８月	「かすみがうら市」が新市名称決定
	１０月	霞ヶ浦町・千代田町合併協定調印式
		霞ヶ浦町と千代田町の合併申請を県知事へ提出
平成１７年	３月	千代田町閉町記念式典開催

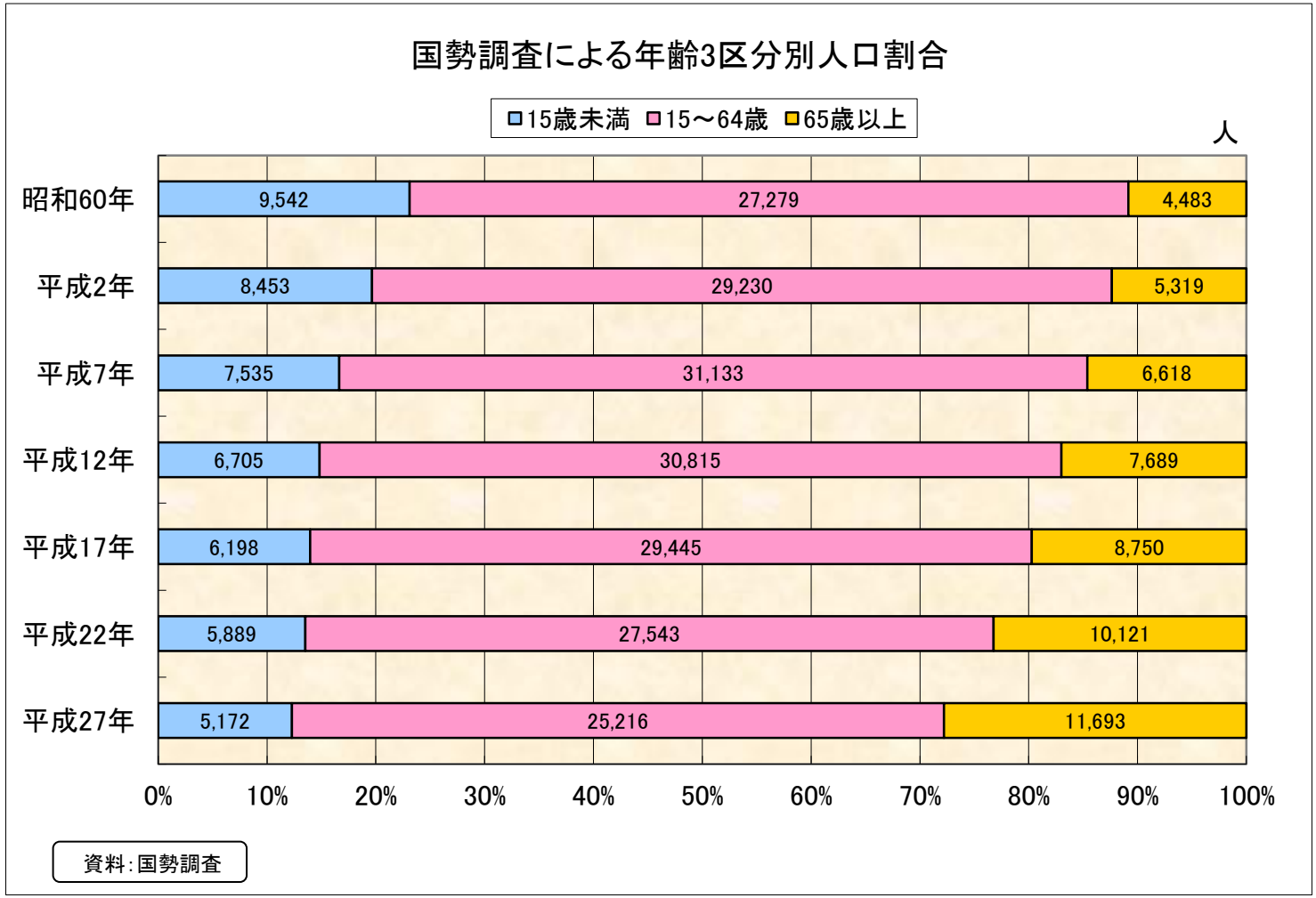

人口ピラミッド（平成29年1月1日現在）
男
女
0
500
1,000
1,500
2,000
2,500
人
100歳～
95～99歳
90～94歳
85～89歳
80～84歳
75～79歳
70～74歳
65～69歳
60～64歳
55～59歳
50～54歳
45～49歳
40～44歳
35～39歳
30～34歳
25～29歳
20～24歳
15～19歳
10～14歳
5～9歳
0～4歳
16
106
429
728
925
1,142
1,432
1,863
1,458
1,232
1,250
1,432
1,407
1,199
1,025
892
940
991
941
790
668
20
145
396
690
1,130
1,395
1,931
1,497
1,247
1,319
1,605
1,656
1,279
1,234
1,141
1,162
1,097
975
874
754
資料：住民基本台帳

その2

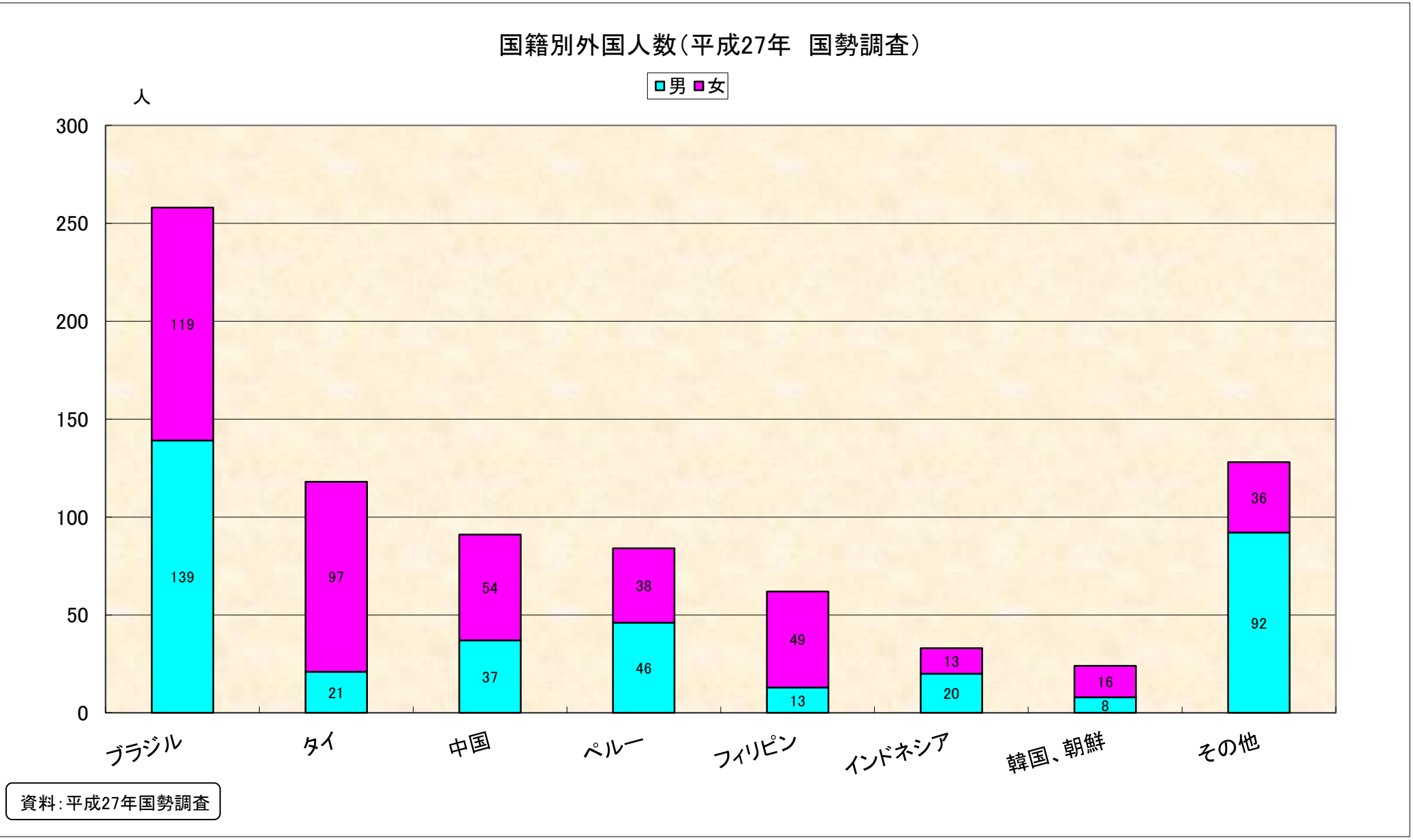

0
500
1,000
1,500
2,000
2,500
100歳～
90～94歳
80～84歳
70～74歳
60～64歳
50～54歳
40～44歳
30～34歳
20～24歳
10～14歳
0～4歳
0
6
20
106
145
429
396
728
690
925
1,130
1,142
1,395
1,432
1,931
1,863
1,497
1,458
1,247
1,232
1,319
1,250
1,605
1,432
1,656
1,407
1,279
1,199
1,234
1,025
1,141
892
1,162
940
1,097
991
975
941
874
790
754
668
男
女
資料：住民基本台帳

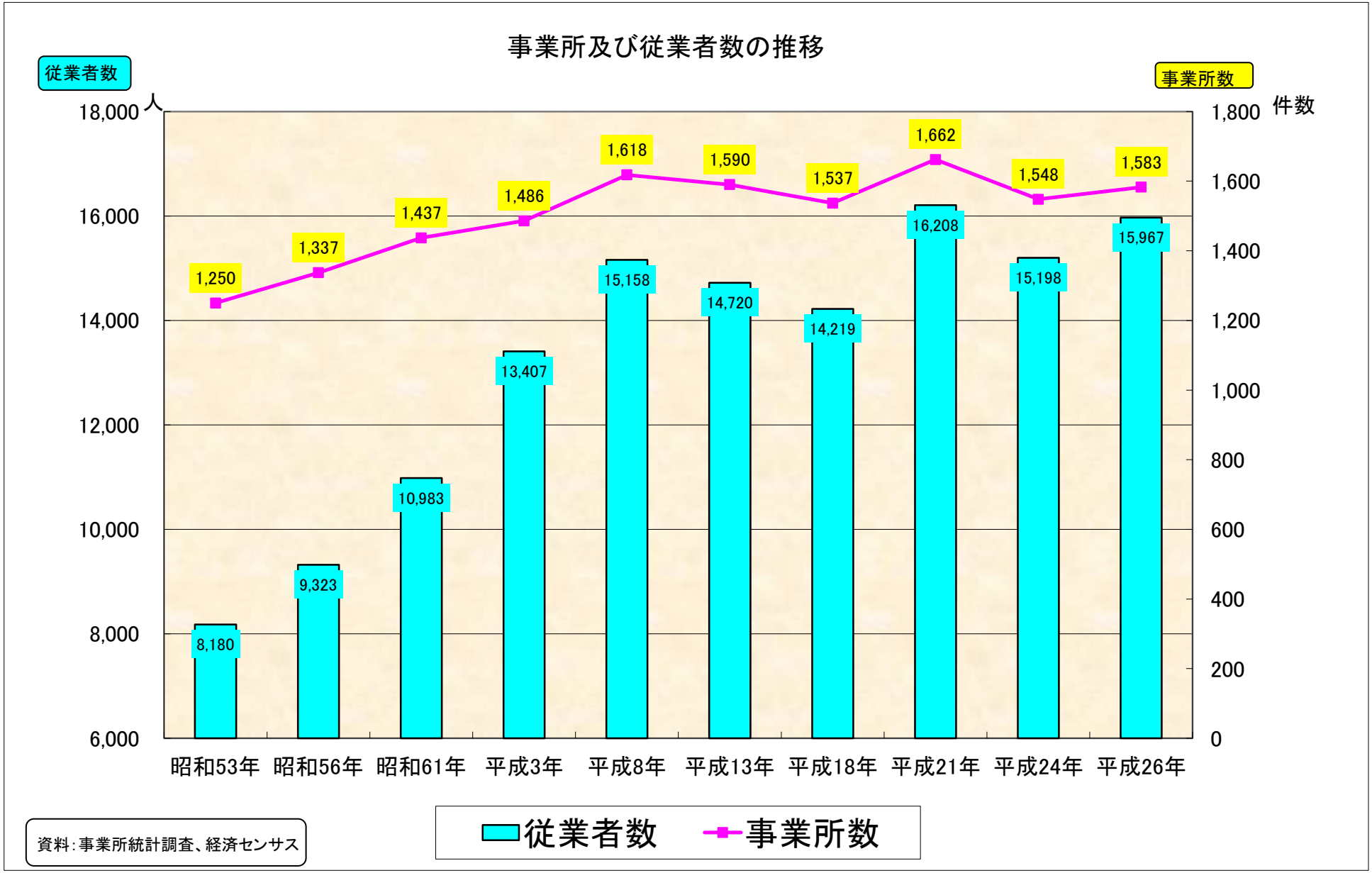

人口の推移
人
50,000
45,000
40,000
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
23,530
23,811
24,750
25,461
25,907
31,307
32,246
32,078
29,976
28,312
30,262
35,786
38,797
41,306
43,013
45,288
45,229
44,603
43,553
42,147
大正9年
大正14年
昭和5年
昭和10年
昭和15年
昭和22年
昭和25年
昭和30年
昭和35年
昭和40年
昭和45年
昭和50年
昭和55年
昭和60年
平成2年
平成7年
平成12年
平成17年
平成22年
平成27年

資料：国勢調査

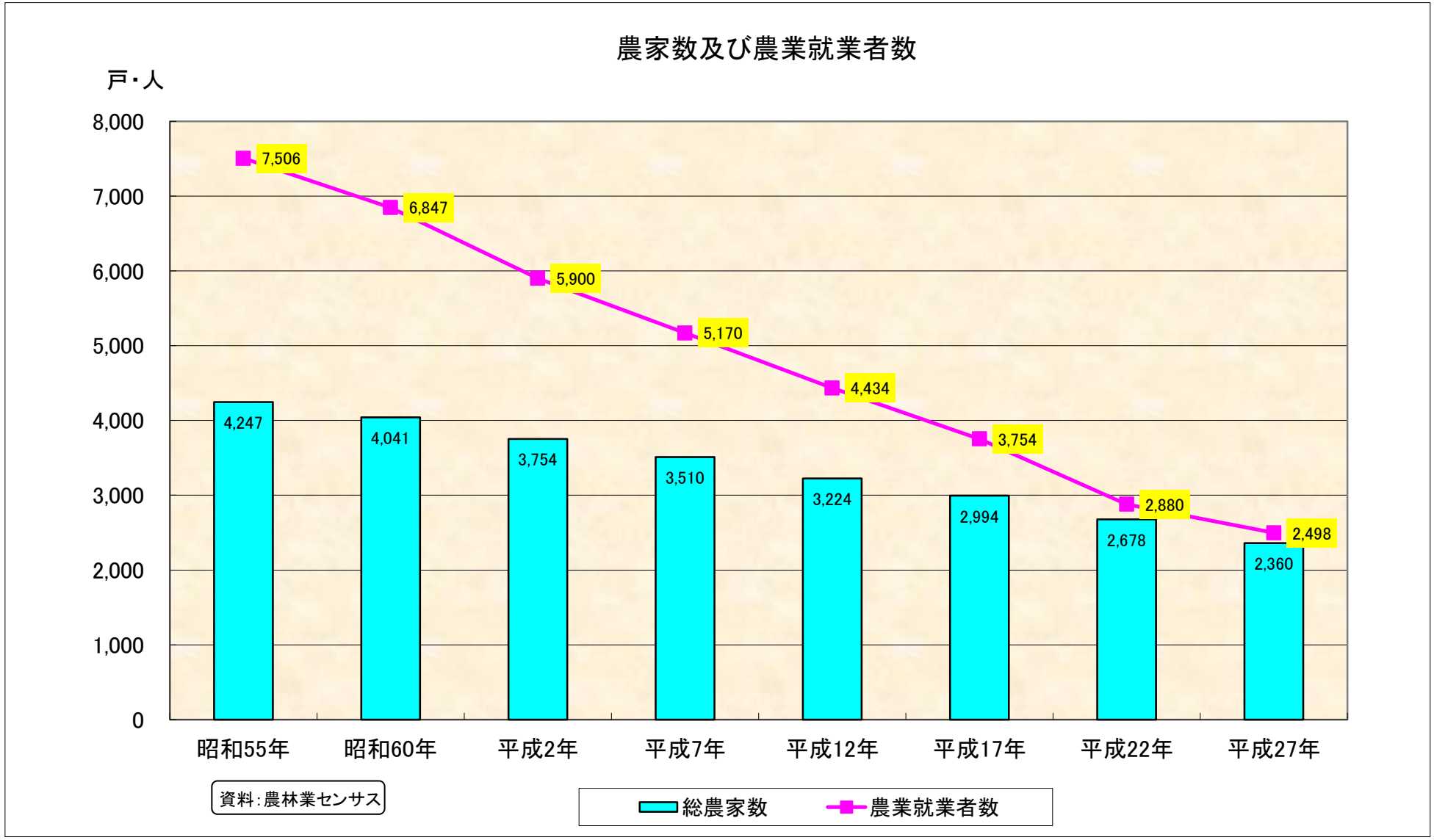


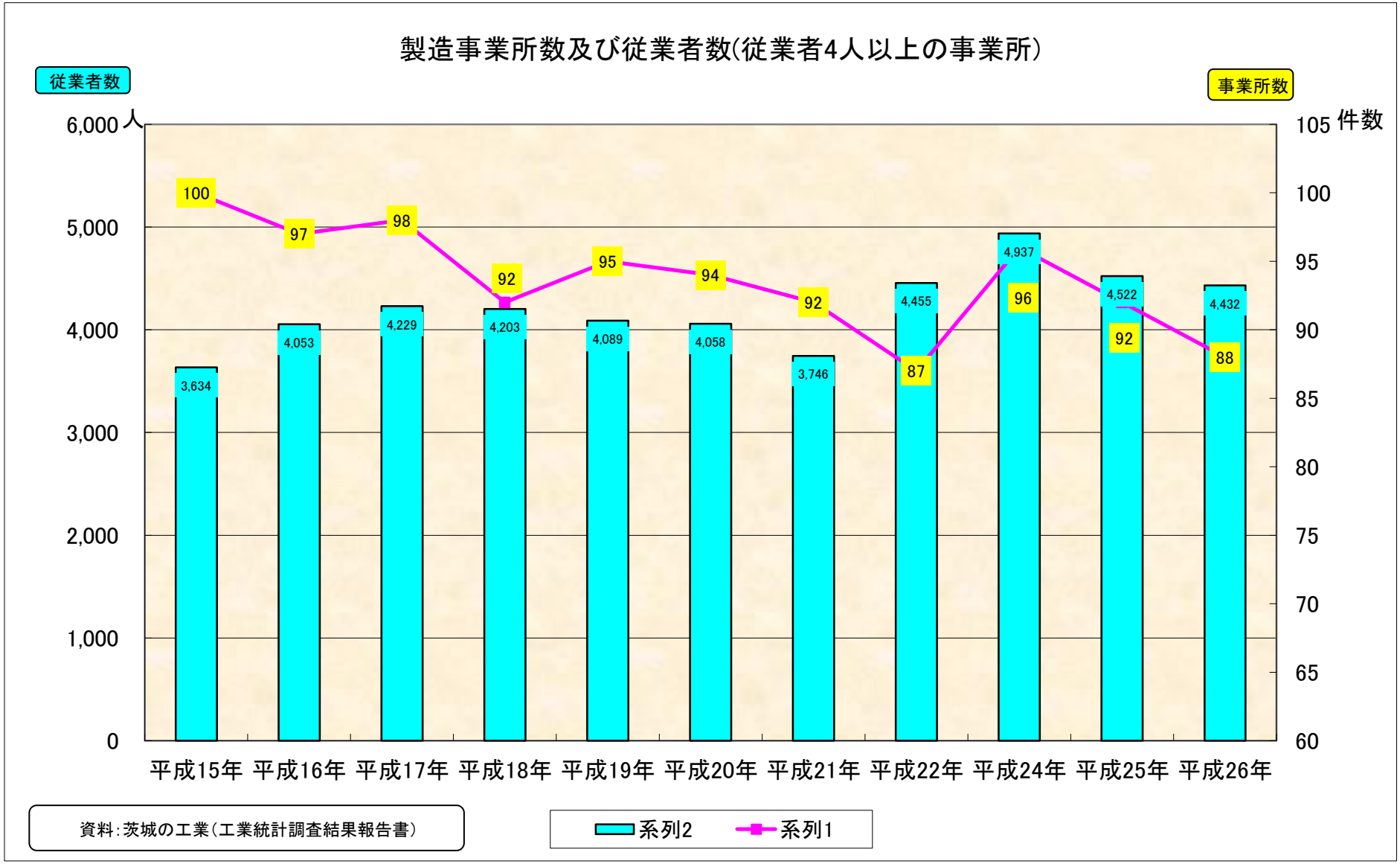
※　年齢不詳者数は含めない

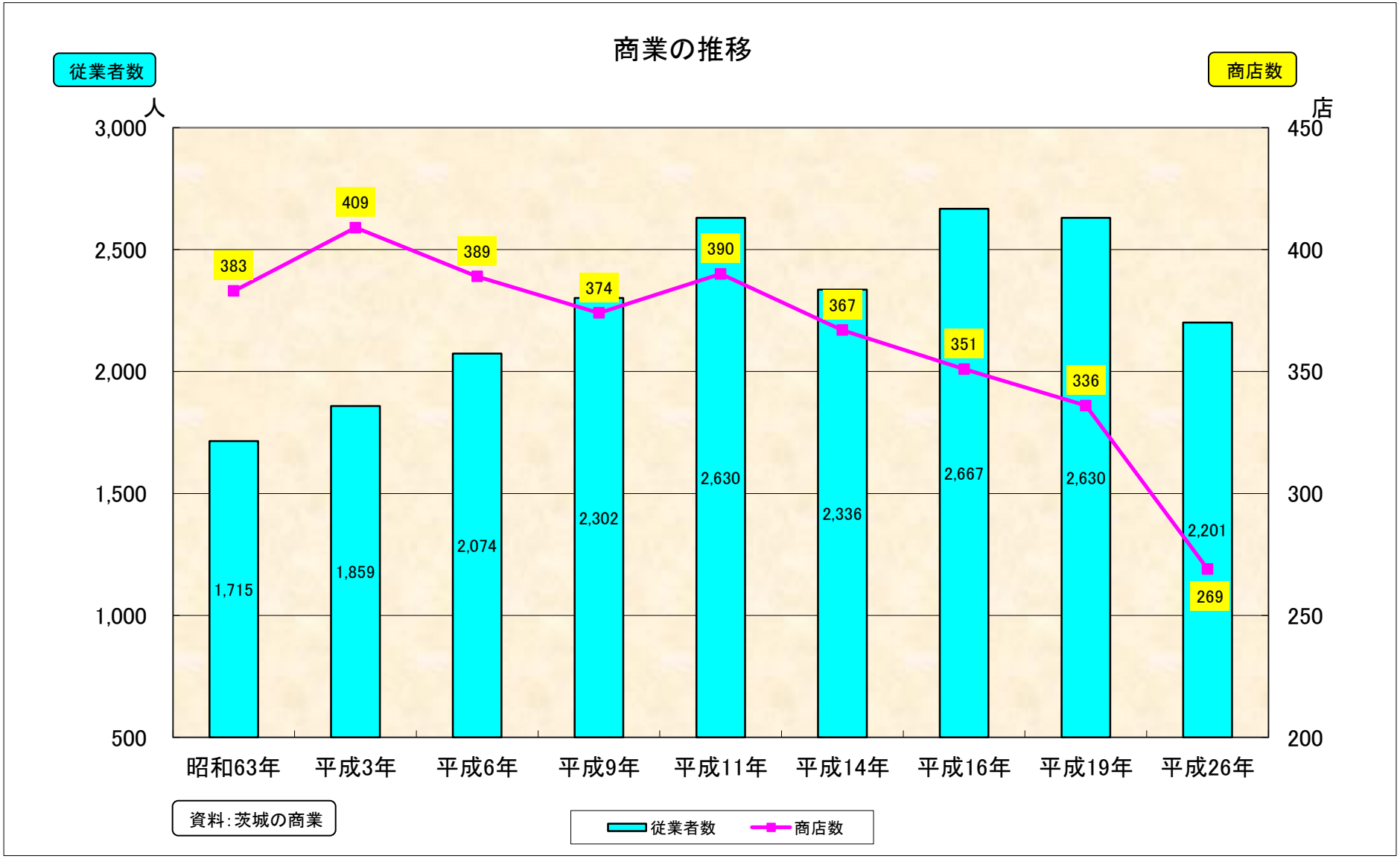

国籍別外国人数（平成27年　国勢調査）
男
女
人
300
250
200
150
100
50
0
119
139
97
21
54
37
38
46
49
13
13
20
16
8
36
92
ブラジル
タイ
中国
ペルー
フィリピン
インドネシア
韓国、朝鮮
その他
資料：平成27年国勢調査

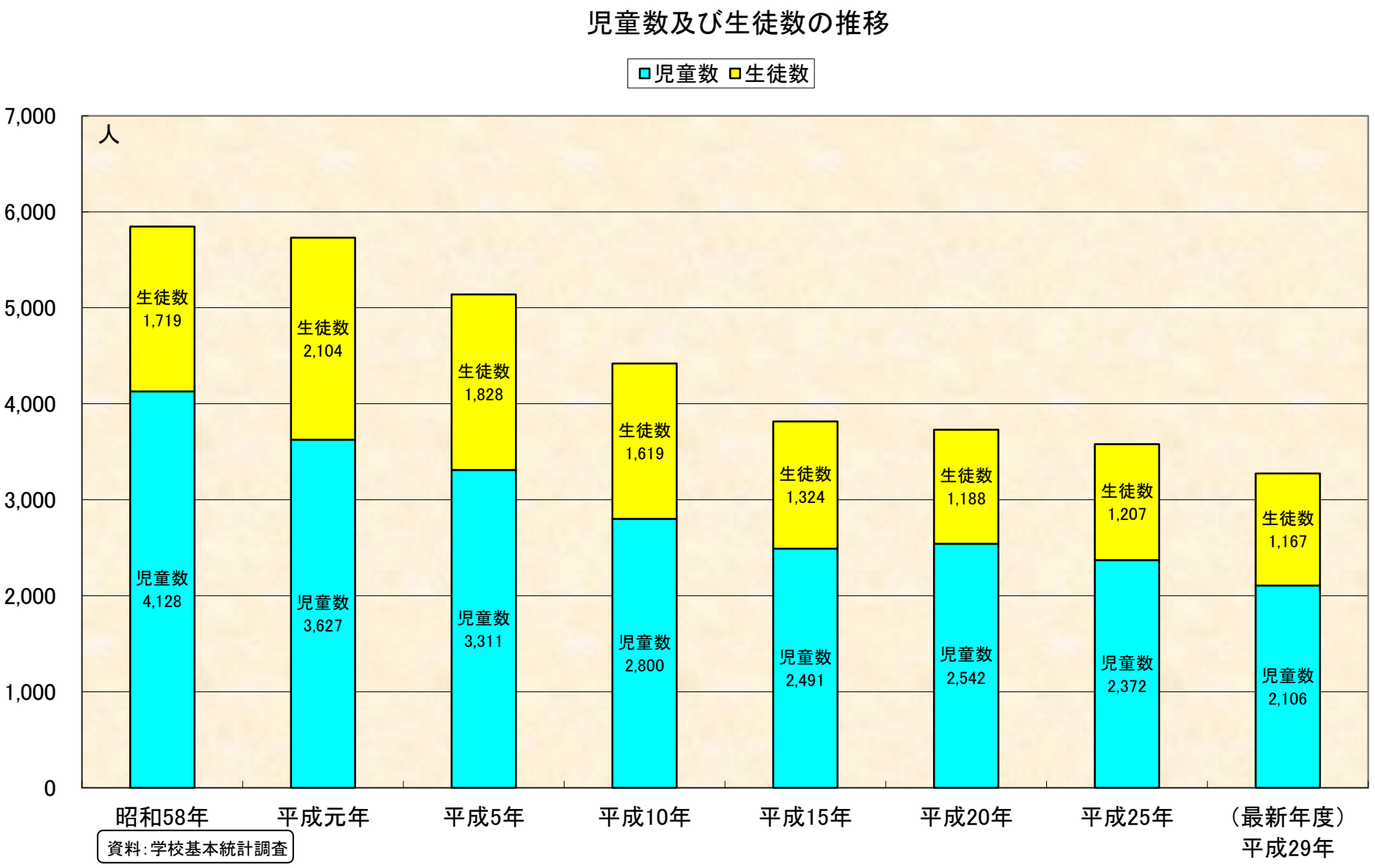


※～平成18年：事業所統計調査、平成21年～：経済センサス


農家数及び農業就業者数
戸・人
8,000
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
7,506
6,847
5,900
5,170
4,434
3,754
2,880
2,498
4,247
4,041
3,754
3,510
3,224
2,994
2,678
2,360
昭和55年
昭和60年
平成2年
平成7年
平成12年
平成17年
平成22年
平成27年
資料：農林業センサス
総農家数
農業就業者数


製造事業所数及び従業者数(従業者4人以上の事業所)
従業者数
事業所数
6,000 人
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
105 件数
100
95
90
85
80
75
70
65
60
100
97
98
92
95
94
92
87
96
92
88
3,634
4,053
4,229
4,203
4,089
4,058
3,746
4,455
4,937
4,522
4,432
平成15年
平成16年
平成17年
平成18年
平成19年
平成20年
平成21年
平成22年
平成24年
平成25年
平成26年
資料:茨城の工業(工業統計調査結果報告書)
系列2
系列1


商業の推移
従業者数
商店数
人
店
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
450
400
350
300
250
200
383
409
389
374
390
367
351
336
269
1,715
1,859
2,074
2,302
2,630
2,336
2,667
2,630
2,201
昭和63年
平成3年
平成6年
平成9年
平成11年
平成14年
平成16年
平成19年
平成26年
資料:茨城の商業
従業者数
商店数


児童数及び生徒数の推移
児童数
生徒数
人
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
生徒数 1,719
児童数 4,128
生徒数 2,104
児童数 3,627
生徒数 1,828
児童数 3,311
生徒数 1,619
児童数 2,800
生徒数 1,324
児童数 2,491
生徒数 1,188
児童数 2,542
生徒数 1,207
児童数 2,372
生徒数 1,167
児童数 2,106
昭和58年
平成元年
平成5年
平成10年
平成15年
平成20年
平成25年
（最新年度）
平成29年
資料：学校基本統計調査

茨城県から見るかすみがうら市

項　　目	茨城県（指標値）	かすみがうら市	県内順位	基準日
可住地面積	3,974.92㎢	90.89㎢	21位	平成28年10月1日
人口密度（総面積１㎢当たり）	477人	266人	32位	平成28年10月1日
年少人口割合	12.5%	12.1%	22位	平成28年10月1日
生産年齢人口割合	59.9%	59.1%	22位	平成28年10月1日
老年人口割合	27.6%	28.8%	23位	平成28年10月1日
出生率（千人当たり）	7.5%	6.8%	23位	平成27年
死亡率（千人当たり）	10.8%	11.5%	27位	平成27年
１人暮らし老人数（65歳以上1万人当たり）	1,297.4人	1022.8人	35位	平成27年10月1日
未婚率	21.63%	22.21%	10位	平成27年10月1日
外国人割合	2.00%	2.48%	13位	平成28年12月31日
市町村内総生産	11,612,394百万円	188,150百万円	22位	平成26年度
製造品出荷額等（4人以上の事業所）	11,408,497百万円	198,996百万円	20位	平成26年
商品販売額	6,248,788百万円	74,667百万円	22位	平成25年間
就業構造（第1次産業）	5.88%	10.74%	10位	平成27年10月1日
就業構造（第2次産業）	29.75%	31.72%	17位	平成27年10月1日
就業構造（第3次産業）	64.37%	57.54%	28位	平成27年10月1日
市町村民税（住民1人当たり）	66.30千円	63.03千円	19位	平成26年度
固定資産税（住民1人当たり）	66.11千円	58.74千円	23位	平成26年度
歳出決算総額（住民1人当たり）	383.87千円	384.26千円	21位	平成26年度
水道普及率	93.88%	97.73%	17位	平成27年3月31日
汚水処理人口普及率	82.26%	89.50%	13位	平成28年3月31日
下水道普及率	60.80%	60.50%	17位	平成28年3月31日
ごみ収集量（1日1人当たり）	934ｇ	929ｇ	20位	平成27年度
自家用乗用車保有台数（千人当たり）	665.1台	687.8台	22位	平成28年3月31日
火災出火件数（１０万人当たり）	44.50件	54.62件	14位	平成26年
交通事故発生件数（千人当たり）	3.98件	5.05件	4位	平成27年
交通事故死傷者数（10万人当たり）	523.7人	654.9人	4位	平成27年

平成29年6月　茨城県発行「市町村早わかり」より